

事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

「公益財団法人大塚敏美育英奨学財団」は、「日本国内の大学及び大学院に在学する有能な外国人留学生に対しての奨学援護を行い、もってわが国と世界の国々との国際親善と国際理解を担う有能な人材を育成することにより、わが国と世界の国々との学術、文化、教育の相互発展及び友好の発展に寄与する」ことを目的としています。

令和5年度決算を迎え、当該事業年度における当財団の事業活動について、ご報告申し上げます。

令和5年度の奨学事業につきましては、40カ国・地域、98大学から合計452人の外国人留学生の応募がありました。書類選考、選考委員会による審議及び面接試験の3度にわたる厳正な審査の結果、中国、ベトナム、バングラデシュ、インド、インドネシア、台湾、パキスタン、アメリカ、モンゴル、韓国、スリランカ、エジプト、ミャンマー、フィリピン、イラン、ウズベキスタン、タイ、コートジボワール、メキシコ、アフガニスタン、イギリス、ウガンダ、エチオピア、オーストラリア、ガーナ、カザフスタン、コロンビア、コンゴ民主共和国、チリ、ドイツ、ネパール、フランス、ベナン、ボツワナ、マルタ、モザンビークの36カ国・地域、64大学から174人（直接応募86人、大学推薦88人）の奨学生を採用し、奨学金を給付しました。また、筑波大学よりウクライナからの避難学生11人の受入れ支援の要望を受け、緊急支援として奨学金を給付しました。

令和5年7月29日、兵庫県立淡路夢舞台国際会議場に於いて、4年ぶりに一堂に会して「奨学生認定式」を挙行了しました。まず、財団の歩みを記録した設立10周年記念映像を視聴し、設立者の想いや財団の趣旨がどのように受け継がれていくかを学びました。式典には、理事、監事、評議員及び選考委員が出席し、採用された184名（1名はオンライン参加）の奨学生に、代表理事より手渡しで奨学生認定証が授与され、2年目の採用となる奨学生代表が謝辞を述べました。また、まもなく大学院を修了する9名の継続奨学生のメッセージを収録した映像「誓いの言葉」を上映し、新社会人としての門出を祝いました。式典の最後にはWebで参加した選考委員2名より激励の言葉が贈られました。懇親会では民族衣装ショーや母国のダンスの披露を通して交流を深め、出席した理事、監事、評議員及び選考委員が奨学生を激励し、意見交換を行う場面もありました。

令和5年11月に奨学生から提出された「生活状況報告書」には、学術面や社会貢献での成果の報告と共に、日本や当財団への感謝の言葉が多く寄せられました。更に、奨学事業拡大の一環として研究や国際理解に役立つ書籍等を購入するための図書費を給付し、対象者全員が学んだことについて読書レポートを提出しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和元年度より延期していた東北地方への奨学生交流会を令和6年1月20日から2泊3日で開催し、33カ国・地域、138人が参加しました。東日本大震災で多くの尊い命が失われた宮城県石巻市の大川小学校（震災遺構）でご遺族の話を伺い、続いて、大船渡津波伝承会会長による講演で、ご自身が撮影

された津波の脅威の映像を視聴し、犠牲者を二度と出さないための防災対策、命を守る行動について学びました。また、世界遺産の中尊寺の見学、ユネスコ無形文化遺産である秋田県男鹿の伝統行事「なまはげ」を体験し、東北地方の歴史や地域色豊かな文化に触れました。バス車中で開催した俳句大会では旅の思い出を全員が短冊に筆で記し、発表しました。最終日には交流会での体験を振り返るためのグループディスカッション及びプレゼンテーションを行い、新しく得た学びを共有しました。

(2) 役員会等に関する事項

① 理事会

令和5年度第1回

令和5年4月25日 (決議の省略)

(決議事項) 選考委員 (直接応募) 1名選任の件

上記提案を可決する旨の決議があったものとみなされました。

令和5年度第2回

令和5年5月20日 (Web会議システム併用)

(決議事項) 1. 令和4年度計算書類等承認の件

2. 事業報告等に係る提出書類承認の件

3. 令和5年度定時評議員会の招集の決定の件

会議の結果、上記議案につき承認可決されました。

(報告事項) 代表理事の職務の執行の状況について

令和5年度第3回

令和5年7月19日 (決議の省略)

(決議事項) 2023年度直接応募 奨学生選考結果承認の件

上記提案を可決する旨の決議があったものとみなされました。

令和5年度第4回

令和5年9月20日 (決議の省略)

(決議事項) 2024年度推薦依頼大学 承認の件

上記提案を可決する旨の決議があったものとみなされました。

令和5年度第5回

令和5年10月12日 (決議の省略)

(決議事項) 選考委員 (大学推薦) 1名選任の件

上記提案を可決する旨の決議があったものとみなされました。

令和5年度第6回

令和6年3月2日 (Web会議システム併用)

- (決議事項) 1. 選考委員(直接応募)6名選任の件
2. 国内旅費規程承認の件
3. 令和6年度事業計画及び収支予算承認の件
4. 大塚ホールディングス株式会社
第16期定時株主総会における議決権行使の件
5. アース製薬株式会社
第100期定時株主総会における議決権行使の件
会議の結果、上記議案につき承認可決されました。

(報告事項) 代表理事の職務の執行の状況について

② 評議員会

令和5年度定時 (Web会議システム併用)

令和5年6月17日

- (決議事項) 1. 令和4年度計算書類及び財産目録承認の件
2. 理事2名選任の件
3. 当該議事録署名人1名選任の件

会議の結果、上記議案につき承認可決されました。

(報告事項) 令和4年度事業報告

(3) 保有している株式の概要

㊦ 営利企業名	大塚ホールディングス(株)	アース製薬(株)
㊧ 保有する株式数	418万株	1万株
㊨ 当該営利企業の総株式数に占める割合	0.74%	0.04%
㊩ 当該株式入手日	平成19年3月6日	平成19年3月6日
㊪ 議決権の行使	令和5年度第6回理事会で決議の上、議決権を行使	令和5年度第6回理事会で決議の上、議決権を行使
㊫ 当該法人と当該営利企業との関係	当該法人の代表理事が当該営利企業の代表者を兼務	該当なし

2 事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成いたしません。